京城新報

人の一生は重荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十四年紀元二千五百七十一年
本紙定價 ▲一枚金三錢▲一ヶ月前金三十錢▲三ヶ月前金九十錢▲六ヶ月前金一圓八十錢▲郵稅一ヶ月十五錢
月曜日及び大祭日の翌日は休日（日刊）
廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人 高木久太郎
印刷人 松久鉀一郎
發行所 京城西小門通 京城新報社 電話六大三番 振替口座京城四五六番
仁川支局 仁川宮町三丁目 電話二一一番

京城一瞥（四） 赤毛布生

殖民地の家庭

…の日曜日、今日こそ友人と同道して京城市内を隈なく巡覽し、…京城管内の模樣でも作らうと存せしに、生憎の雨天、雨が些でも降ると忽ち市街は泥田同樣になる京城の名物、傘蓮中を窮屈な思ひをして歩くよりは今日は大いに睡せう、休日なからと友の云ふに、然らば晴天の日を期して見物せう……併し君何か話題があるかと友に尋ねると、友は可なり京城居留民の穴探しは仕度無いが、と云つて默して止む譯にはゆかぬ、と云ふのは、京城居留民の家庭の多くが純良でない缺陥が多いのに困るよと答へる、成程僕が知人にして相當の地位に在る某の宅を訪問して、…家庭を見た時、…から友の言を否認し去る事が出來なくなつた、勿論これは一端を見たばかりに過ぎないが、友の言ふ所によると京城居留民の家庭中優良ならざるものゝあるを推測するに難からずである、それで中には模範となる程の家庭もあらうが、大体に於て獨り京城のみならず、殖民地に於ける家庭の普通に降つてをることは敢て誣言でない、僕は從に京城とは謂はね、殖民地の家庭と題して聊か苦言を呈せう、家庭と云へば論ずる範圍が廣い、朝鮮で一名詞となつてゐる韓妻の事にまで自ら論及せねばならぬ、が其は第二として、殖民地の家庭は兒童の訓養に關し注意周到を缺いではをるまいか、中學生などの生意氣な風を見ては一層然か感ぜられる、純白無垢の天性で可惜思ひも附かぬ色彩に侵染せしめ變色混色せしむると云ふ事は、自ら其慈愛する子弟を賊ふのである、學校に於ける教育が大切なるが如く、家庭に於て訓養は頗る忽にすべからざる、或點に於いて家庭の訓養は學校の教育より更に大事に更に大切なものであるこれは僕の喋々を要する迄もない、當今學校と家庭の連絡を保ち內外出入、教師と父兄と其心を一にして教養に努めねばならぬと論ずる者の益々多きを加ふるのを見ても解る、學校と家庭との…、二を割して互に一致することが出來ない、で家庭に居る時と學校に在る時とに由て、言動の差異行止に相異を生ずるが如きは、切に念を留めねばならぬ事である殖民地で相應な地位に居り、產もあり名望もありながら、禮讓を辨へぬ人が多いのを見るのは、要するに裸一貫で渡つて其が段々と成上つて紳士とか云はるゝ型にはまつたのが大部分を占めてをるからであらう、其云ふ人の家庭が一寸不純良である、在學の子弟が其面前に在るに拘らず教師を侮蔑する樣な言を吐き、又其人物の重からざるを曝し、其學友の接近を嫌くなどする父兄を見受けるが、これは極めて惡い、教師として教師を尊敬する念…家庭にする外…の益する點がないのである（此項未完）

雜報

●總督府の水車注文　我が總督府に於ては此の程福岡縣廳を經て三瀦郡當局者より大川指物同業組合へ水車二十五臺購入方を急ぎ居りし由にて見積書提出方を申送りしより同組合にては朝鮮農事奨勵の爲の灌漑用水車使用全鮮に亘るとすれば莫大の輸出ある見込にて同組合に於ても愈々本注文に據りて入念製作すべしと

●移民取扱所閉鎖　去る一月三十日より下關驛前仲谷旅館內に臨時開設せし東拓會社下關移住民取扱事務所は豫定の通り十日を以て愈々閉鎖したる由なるが出張中の同社員は殘務整理次第歸社する筈

●莚叺製造傳習經過　大邱金融組合に設けありし莚叺製造傳習の經過を聞くに傳習期間最初の計畫に於ては昨年十二月下旬より向ふ三十日間の豫定なりしが教師の聘聘其の他の準備にて手後れし一月八日教師の着邱と共に準備に着手し九日より傳習を開始し一月三十日は舊正月元旦に當り農民は一切休業の爲め傳習も中止の不得止に至る以て廿九日に一先づ切上げたるが此の期間二十一日にして傳習教師に經驗ある者を可とする故莚叺栽培組合に依賴し曾つて同組合に教師たりし守井延書か當地方農民に傳授したる經驗ある者を以之を聘したる其の教授方頗る要領を得且つ親切丁寧に教へくれしかば成績佳良なり

●滿州の鼠疫患者　十二日奉天防疫本部より左の電報あり管內新患なし管外奉天八（內女二）長春一一（內女一）管外累計四、八三九管內外累計五〇六六なり因に新義州の龍岩浦警察署管內に一急死者ありしはペストにあらずして全く肺結核の爲め喀血死亡したる事判明せり

外事一束

▲米國　が墨國境に出兵せるはモンロー主義の發現英國不關知と英使辯ず。
▲在米　墨國大使に向ひタフト氏米兵出動に對し墨國驚ずる勿れと懇辭せり。
▲歐洲　駐都駐劄墨國公使は墨國危機切迫の報を全然虛也と極力否認をなす。
▲英國　倫敦下院に於て大陸戰爭起る場合英は佛を援く密約無しと宣言す。
▲英國　帝は印度訪問の爲來る十一月より明年一月迄御不在となるべしと。
▲解決　澳門に於る葡淸國境事件は葡國側より賠償金二千圓を支出し落着。
▲倫敦　株式市場に於ては日本の公債少しく騰貴せりとタイムス電報に見ゆ。
▲海軍　英國海軍豫算は四千四百九十三萬二千五百萬磅水兵三千を增加す。
▲日英　關稅商議解決と共に日本は獨逸と同樣の協約結ぶべしと倫敦特電。
▲淸國　外交問題多難の爲袁世凱起用の議起り攝政王之を許可せりと云ふ。
▲銀行　英國商人滿州に於て日露に對抗の爲上海銀行支店設置の計畫あり。
▲露國　新黑龍總督ゴンダアチ氏は十三日浦鹽斯德港に着任なすべき筈也。
▲奉天　の防疫會議には北里柴山兩博士出席各國の委員出席會期は一週間。

文苑

釜山の一日（二）　秀峯

道端の今川燒屋、浮世の荒波にもまれた男を憐れと見て、其の火を借り、舌わつき一個を喰して、「夏よいーね景色が」と云へば、無骨漢「冬はだめだ」話せぬわいど、立つ樓上の欄干、輕く三味の音が漏れた、特別料理店、何であらう、不得要領だ、手つ取り早いが釜山人の特色、夫れにしては不似合だ、と云はねばなるまい、之れに對して、洋實居は、高等料理店、更に踵を回して市街の中央に出た

御酒　乃

の小看板を見た、ハテと一考、謎だ、御酒肴の略語だ、十三里と同じである、何んと優しいではないか、九尺二間の窓に春風が吹く、一杯やりてえが酒は嫌ひだ、歩き歩きして停車場に入つた、日は漸く海の彼方に低い、白阪子の記事を讀んだ、六日の新聞に未だ無い、何れ馬山通より（三月七日スケッチ）

召使お初　第二十五回　黒法師

青山といふは、お力の實家水野十藏が青山三筋町に住居するを云ふなりき、十藏は學問所勤番の組頭を勤めて三百俵十人扶持を給はり、富めるにてはなきも、又貧しからず生活す、お力は先代十藏の末子にて、當主十藏はその兄に當れるなり、小時して

『私はこの金子受け難ねる、これで佐十郎の質入した紀念の品受出してはくれぬか、すれば海老屋の義理も立ち、お道も奉公に行かで給まうが……』

『いゑ、さうは爲りませぬ、傳兵衛にも堅い約束、迎ひの者も參り居る氣、今さら變がね、不信不義の名を取るは御先祖へ不孝にも當りまするで……』

お力はお道を見返つて『……そなた何う思やるの』

『お母樣仰せ御有理と心得、町人ながら御大名衆御用聞きも致す身、約束を反故にして後指さゝるも殘念でござります、お祖母樣のお紀念、このお小袖を身に着け參れば、私此上もない本意ござりまするで……』とお道は動きなき決心を洩れ見せ『只今よりお暇給はります』

「さらばどうあつても參るか」

「お父樣御機嫌よくあらせませ」

「是非ないことぢや」と佐五右衛門は力なく「ぢやがお祖母樣よりお遣はしの鳥目、酒代に致すやう御意はあつても、我等誓つて盃を手に致さぬで今にも佐十郎立ち歸らば、これでお紀念の品々受け出し、我等手に持ち傳へる、これはかりは懸念するな」

「私はお紀念のお品よりも、お父樣お身体大事に心得ます、何よりもお好物の御酒、先刻も申し上げる、少々は御嗜みあらせませ、私町家の奉公致すもお父樣に……」と云ひかけて涙を拂つて「……お母樣後々のこと頼ひ置くでございます」

「そなた孝心は好く知れた、お父樣御禁酒、そなた町家へ奉公、一家の者乞食同樣に日を送る、この有樣一目見ば佐十郎も身に滲み改心の端にもならうと、それはかりを心に待つ、佐十郎は器量兒、改心さへ致さば一かど物の用にも立たうと、常々お父樣の仰せらるゝ、佐十郎は當家大黒柱、歪み直れば士分も立つ、それまでの辛抱隨分忠勤を念としての」

「さらば、お二方とも御機嫌ようござりませ、私、只今より參ります」彼女のお道は飽くまでも殊なりき、優しく情ある詞には、庭の花も引き付けられて、落花の風紛々と椽に吹き入る。

「傳兵衛にも好く云ふ事、武士の家に育つた者は、町人の氣風に合はぬ處もあらうで、萬事は控へ目、それに如才もあるまいが、行儀を謹んでの」

「御教訓骨に刻み、よく心得るでござります」とお道は徐に起ち上る、死別れするとてはなけれどお力は悲しさに涙の禁途もなく袖を掩ふて送り出ぬ

玄關の式臺には海老屋よりの迎ひ手代善吉、丁稚長松、待ち草臥れて欠伸なりき

「お待ち遠でござつたの」とお力は涙を見せじと笑ひて「お道はまだ小供での、母の乳を放れるが辛ひといふのでの」

「皆さま御苦勞でござりまするな」とお道は長吉の擔へ與れる、麻裏草履を引き掛けて、花の姿美はしく門邊に立つ

お道の頭にきらきらと日は照りて春は末ながら風は長閑に、貴なる蝶も白き蝶も蝶の如くに舞ふ花片も、別れを惜む如く後を追ひ來る

お道は斯くして初奉公に出でたりき

花一もとと抜き去られたる家の後は、寂しき風吹き荒みて、垣も扉も崩れたり。

新政と舊民(七)

於亞細亞協會 小松綠氏述

他方に於て朝鮮上下の狀態を察するに併合の當時に於て多少疑懼の念を懷きたるは自然の勢と謂ふべく此の曠古の一大變革に際しては或は自己の利害關係より或は舊來の迷想より多少の紛擾を生ずることありとも古今の事例に照らして敢て怪むに足らざる所なるに事實は世人の豫期に反し單に幾分の疑念を懷く者ありしに止まり此の一大變革は最も靜謐に決行せられ何等の波瀾を生ぜざりしは全く日本天皇陛下の深仁寬宏なる聖慮と舊韓國元首の英斷とに依るは勿論なりと雖も當時 天皇陛下の勅[illegible]併合後半箇年間に於ける諸種の納税額を取つて之を前期間に比すれば現に九十七萬圓の增收を見又輸出入額は本年一月より二月十五日に至る一箇月半に於て之れを前年に比し輸出に於て百十餘萬圓輸入に於て二百二十餘萬圓の增加を示せり以て一般[illegible]の平穩なる徵證と為すに足るべし

▲結論 朝鮮に於ける統治上の困難なるは歐米諸國が其の殖民地に於ける行政と同一視すべからざるものあり蓋し英國の印度に於けるが如き米國の比律賓に於けるが如き佛國の「マダガスカル」及「チユニス」に於けるが如き又は獨逸の「アフリカ」殖民地に於けるが如きは人種風俗宗教及文化の程度に於て本國人とは全然異りたる人民に[illegible]史上に少からざる影響を與ふるものと謂ふを得べきなり(終)

▲貴族院本會議

東京電報(十四日)

十三日貴族院本會議に於て朝鮮に施行すべき法令に關する法律案及四十三年度勅令第三三六號の承諾案四十四年度總豫算案其他重要事項十件を附議したり、朝鮮法律案は黑田委員長の報告通り可決し、承諾案は委員會決議の通り承諾を與ふる事に決したり、次に四十四年度總豫算案は曾我委員長の報告ありて衆議院送付の通り可決せり其の他の件に就きて質問應答ありて正午散會したり

▲日英新條約內容

日英新條約改正の條項及其骨子は既報の如くなるが既に協商纏り本月末調印を終り四月下旬發表の豫定なるが該條約成立に關する內容に就ては日英兩國政府共に秘密に附しつゝあるが要するに妥協したる品目は英國の特產品たるランカシヤ及マンチエスターに對し一割乃至二割の輕減を為したるものにして現行税率に比すれば著しき輕減となるに依り英國各工業家は逸早く此の形勢を見て取り全力を傾注して競爭しつゝあれば七月十七日の條約實施期迄には多額の見越輸入を為すならんと觀測せらる

▲師團長に鴨獵被仰付

天皇陛下には目下師團長會議列席の為め上京中なる各師團長及び陸軍各局長並に明石憲兵司令官等三十餘名に鴨獵仰付らるべき思召に付米田狩獵頭は聖旨を奉じ來十五日午前九時埼玉縣下越ヶ谷大袋狩獵場に出發十六日鴨獵御催の筈にて各師團長外夫々に招待狀を發せられたり

▲衛生醫師功勞表彰

內務省にては去月中全國に於ける衛生醫術上の功勞者百二十名に對し表彰を為す筈なりしも全國の調査纏まらざる為め無期延期となり昨今取急き調査中也

▲有吉長官轉任

病氣の為め熱海に轉地療養中の有吉總務部長官は十三日附にて左の如く轉任したり(十三日延着前號欄外再錄)

朝鮮總督府總務部長官 有吉忠一
任宮崎縣知事(敍高等官一等)

▲丸山知事の休職

重患に罹りて目下大學病院に入院治療中の島根縣知事丸山重俊氏(元韓國警視總監)は文官分限令に依り休職を命ぜられたり(前號欄外再錄延着)

▲丸山氏の後任

宮崎縣知事高岡直吉氏は丸山氏の後を襲ふて島根縣知事高等官二等に敍せられたり(前號欄外再錄延着)

▲笑ふべき流說

華盛頓來電に依れば墨西哥に於て五萬の日本人は墨西哥革命軍の援助を爲すべし之れ一ヶ年前に墨政府と日本政府と攻守同盟を結びたる結果なりと流言するものあり墨國公使は是れ全く無根の妄說なりと言明せり

▲米兵墨國侵入

北米合衆國の軍隊墨西哥國境に到着しつゝあり墨國侵入の時は米國第一、二、三師團を動すべく準備し居れり

雜報

美風良慣に就て

——朝鮮起業家の注意——

內地人が朝鮮人を相手に事業を計劃するや濫りに杓子定規に拘泥し或は煩苛極まる法律眼を以て之に臨み若くは黑き腹を押し匿くして強いて表面の彌縫のみに力む是れ軈て失敗の大原因たるが如し故に彼等と事を共にせんには宜しく先づ至誠を披き一方に就ては其が固有の習慣を利用するを可とせずやと思惟し某當局の意見を敲きたるに其談に曰く

如何にも然るが如し現に朝鮮人中にも種々美習良慣の存在せるありて之が利用に力むるは苟くも忽にすべからざる緊要事なりとす今試に一例を擧ぐれば彼の契と稱する制度の如き各種の方面に現在し今之を美良なる目的に利用せば其效果や必ず顯著なるものあらん而して此契なる制度は各道各地適宜に發達し居れるが就中牛契と稱するものは一種の保險制度にして咸鏡道方面に於て最も盛んに行はれつゝあるが如し例令ば多數牧牛の所有主が小作人又は附近の農業家に之を預託し耕作の用に供せしむる其報償として約束の使用料を徵し若くは其牛に依りて產出せる犢牛を提供せしむる等の習慣は牛を唯一の財產とする該地方民に在ては自然の促致せる制度なりと謂ふを得べし是れ所謂財產に對する一種の保險にして牧牛所有者は之に依りて其富の安全を保ち被託者も亦以て農耕の用に便じ得べく則ち相互の利益を主とせる良習慣の發達せるものなり其他調査を重ぬれは各種の契に於て特有の美點を有するを發見すべし思ふに併合後日鮮人を問はず各方面に亘りて着實なる事業家興起の兆あり此際吾が內地人にして朝鮮人を相手に合同事業を營まんと欲せば須らく窮窟なる內地眼を脫却して彼等の慣行如何に注意を拂ひ其善良なるものは之を捨てず又參考に資すべきものあらば之を調査參酌し以て渾然彼我の融和を計らざるべからずと云々

●衛生事務統一

總督府現行の衛生制度は內務部及警務總監部の二に別れ前者は醫院行政藥品取締等の事を管し後者は主として執行方面に方り居れるが其實施上相互扞格の嫌合勘からず故に早晩警務總監部に統一すべく內議決定し居れりと云ふ

●定例長官會議

十四日午前十一時より總督府に於て定例長官會議を開き山縣警務總監を始め木內宇佐美池田の各長官俵副總裁上松總務部長官鈴木度支部長官代理山形警務總長代理小城鐵道局長官代理中野警務官列席政務の打合せを為し午後一時散會したり

●司法官の會議

司法部に開會中の司法官及典獄會議は十四日も引續き各協議事項に就て討議をなしたるが同會議は十六日を以て終了すべしと

大神宮の遙拜所に就て

古城民長談

大神宮遙拜所に就いては予の就職以來一日も此念頭を離れざる唯一問題である、故に新年度豫算編制に方りても是非何等かの方法を講じ若し歲入豫算に於て許し得べくんば二三千圓の基本財產を一般會計より繰り入れたいと考へて居る、ソレで又現遙拜所は如何にも粗末極まつて勿体なく感じて居るから在職中に必ず一大遙拜所を完成すべく私かに計劃して居るが、恐らく此問題に就ては何人も異論なかるべき事と信ずる、兎に角早く實行したいものだ

▲人さま〲▼(六)

海津三雄君

前統監府囑託後備陸軍工兵中佐正六位勳四等といふ肩書丈けでも海津三雄君は現民團議員中の一異彩である、況んや其人格の八面玲瓏なるに於てをやだ、嘗て今回衆望を荷ひ議長の榮職に祭り上げられたが、彼の腕白議員等君の溫厚なるに附け込み時々惡戯を試み議場の整理を手甲摺らせて居る、君は鳥鷺の名將で小笠原島へ行けば正に本因坊の格だ、又碌々藝喋唯非中々の凄腕で殊に隱藝の博多二輪加に到りては夫れは〱異物の二輪加師も裸足で逃げる、隱喰では龍山の三長と評はれ上村警察署長大久保民長と共に數々艶名を流がしたのは皆さん先刻御存じの通り

△正誤 昨十四日掲載大庭貫一君とあるは大庭寬一君の誤植に付茲に訂正す

●税制查定方針

京城民團税制調查會は十三日午後二時より其主查會を開きたるが調查の範圍頗る廣汎にして其完全を期せんは容易の業に非ず故に先づ税目に依りて分擔を定め除々に其調查の完結を計るの外なしとし戶別税には田村義次郎曾我勉の兩氏を又營業税には海津三雄杉山孝平の兩氏を專屬せしむるに決したりと

●御救恤金賜與

總督府に於ては併合後各道に亘りて鰥寡孤獨を查察し夫れ〱救恤金下賜の詮議進行中なるが京城府管內は千四百六十五名を算し近々之を召還して救恤の趣旨を傳へ同時に現金を賜與する筈

●京城民會開期

來年度豫算審議の為め京城民團にては來廿日民會を招集すべき豫定にて昨今專ら準備中にて豫算案全体は來十七日頃迄に調製濟となるべきよし

●修業證書授與式

京城民團立小學校高等女學校及び幼稚園は來廿日より二十五日迄の間に學期修業證書授與式を舉行し次いで三十一日まで休業の上四月一日より新學期を開始すべき筈なり

●仁川居留民會

既報の如く仁川民團民會は十三日午後七時半より開會出席議員十五名議長は附議事項を報告し議事に入り議案中(一)小學校組織變更の件(二)尋常小學校則制定の件(三)高等小學校則制定の件(四)商業學校組織變更の件(五)商業學校則制定の件(七)高等女學校組織變更の件(八)實業高等女學校則制定の件(九)授業料及保育料額の件(十)商業學校分教舍移轉の件及び元商業學校建家處分の件は委員附托調查に決し坪井、八田、山下、竹田津、加藤の五氏右委員に擧げられ議案中仁川居留民團吏員附屬員雜給支給規則中改正の件、仁川居留民團吏員住宅給支給規程中改正の件、歲出豫算額內流用に關する件、一時借入金の件等は可決確定、十六號議案たる仁川居留民團墓地規則改定の件は加藤、淸水、樋口三氏を委員に擧げ調查附托、居留民團税等級課率に關する件、戶別税、營業税、賦課等級人員減額の件、土地税賦課名に關する件及四十四年度歲入出總計豫算案等は藤村、川添、高田、美濃谷、淺井、堀、平山の七委員に調查を附托して散會す

●實業視察團入京

京城日報社國民新聞社主催の朝鮮實業視察團は十五日午前八時南大門着特別列車にて入京す

京城最近金融統計

京城日本人商業會議所調查に係る京城日本人側三銀行朝鮮側五銀行に於ける二月中の金融統計を記せば左の如し

▲金銀出納高▼(日本人側分)
收入金 一〇、四四六、六五四圓
支出金 一〇、四九六、一六〇圓
前月に比す增減額收入に於て二百七十九萬〇八十三圓を支出に於て二百八十五萬八千九十六圓を減じたり

▲預金額▼(同上)
預金 三、八七三、三七〇圓
前月比にして十一萬六千九百七十圓を減じたり

▲貸金額▼(同上)
貸金 三、五八〇、二八一圓
前月に比し十二萬六千六百七十五圓を增す

▲金銀出納高▼(朝鮮人側)
收入金 二八、八八〇、七六六圓
支出金 二九、三七五、七九八圓
前月に比す增減額收入に於ては十四萬九千百四十三圓を減ず支出に於て三十六萬三千五百十三圓を增したり

▲預金額▼(同上)
預金 四、二三三、八三七圓
前月に比す十六萬千三百二十七圓を減ず

▲貸金額▼(同上)
貸金 四、四四六、七九九圓
前月に比し二十一萬四千二百二十八圓を增す

●燈臺點燈の告示

朝鮮西岸飛澄島避島及募島の三燈臺は大同江結氷の為め點燈停止中なりしが飛澄島燈臺は三月七日より避島募島兩燈臺は三月十五日より何れも點燈なす事總督府より告示ありたり

●敍任及辭令

任朝鮮總督府判事 畑 義三
敍高等官七等
任朝鮮總督府判事 松下 直英
敍高等官七等
任朝鮮總督府檢事 栗山 堂吉
敍高等官七等
朝鮮總督府判事 成 夔永
依願免本官
朝鮮總督府檢事 河村 靜水
朝鮮總督府通信技師 鹽谷 長壽
(各通)
文官分限令第十一條第一項第四號に依り休職を命す

●本田場長の昇位

水原勸業模範場長正五位勳三等本田幸介氏は今回從四位に敍せられたり

●藤原書記官の出張

度支部財務課長藤原正文氏は關東州の經濟事情調査の為め近日同地に出張の筈なり

●仁川築港案通過祝宴

仁川港民年來の希望たりし仁川築港案も十三日貴族院會議を通過せし報に接せし仁川官民有志は十四日午後六時より同地八阪樓にて祝宴を催ふし中々に盛會なりしと因に築港起工式には仁川デーを催す由

●河村檢事獨國留學

京城地方裁判所檢事河村靜水氏は法官中少壯敏腕の聞へありしが今回獨逸に二ヶ年間留學を命ぜられ同時に休職となりしが氏は二十三日午後十時南大門發汽車にて出發すべしと

●判檢事懇親會

司法官協議會に參列の為め入京中なる司法官及在京城の各裁判所判檢事並に司法部職員等は十五日午後六時より花月に於て懇親會開催の筈なり

●韓銀貨幣發行高週報

三月五日より十一日に至る間に於ける韓國銀行發行高左の如し
銀行券發行平均高一八四〇四六八六圓內正貨準備發行平均高七〇三七三二二圓保證準備發行平均高一一三六七三六四圓

公人私人

△井上靜三郎氏(朝鮮新聞社主) 今朝來京
△長山乙介氏(警務總監部囑託) 東上中の處十二日歸任
△花井藤五郎氏(平壤勸業模範場技師) 釜山へ

▲治外法權▼

三ヶ月前に於ける記者の透視が的中して有吉の逃出しはトウトウ事實となつた、サア今後總務部なるものを置くか置かぬか、モシ置くようなら、誰れを長官に据ゑるか而かも無理な事を早く悟つて早く逃出したのは彼として進退宜敷を得たものであるのだ、嗚呼鶴原、石塚、有吉揃も揃つて味噌に終つたのは不思議と云ふべしであるのだ▲朝鮮に憲法が行はるゝかドウカとは議會に於ける岡野博士の質問であるが、之れに對する政府の答辯は餘りに要領を得ない樣だ、一体朝鮮は帝國の一部か將た殖民地か若し殖民地なら憲法は正に行はれぬのであるのだ▲政府が在外財務官として外債償還の宣言をせしめた、而して其償還年額は一千万を下らざるものだソウだ▲我現在の外債總額は國にして約十四億五千萬圓だ、此額に對して假りに年々一千萬圓づつを償還するとすれば全額を濟ますには百四十五年を要するのであるのだ、嗚呼我財政は百四十五年後に非らざれば眞の獨立を得られぬのであるのだ▲大和魂を誇るの諸君武士道を誇るの諸君、諸君は前記外債の償還に就て何か明案を有せりや否や思へは心細き限りと云ふべしであるのだ▲債權者と債務者とが交際に於て不對等なることは免かるべからざるのことであるのだ、されば今度出來た日米新條約の如き其表面こそ對等なれ其內容は不對等にして片務的であるのだ、思へば殘念ながら我帝國が債務國たる以上對等双務的の條約などは決して結べぬのであるのだ▲無邪氣なる我大和魂と武士道の諸君、諸君は各一人の頭に三十圓づゝの外債を有する、嗚呼三十圓づゝの外債、之が附纏つて居る中は諸君と毛唐人とは決して對等ではないのだ、玆に到つて吾人臥薪嘗膽外債の償還に勉めざるべからざるであるのだ▲仁川疑獄の取調べはマダ附かぬか、餘りに長いと人權問題が起るぞ判事君マサカニ居眠りはして居まいね

▲仁川港の出入船舶▼
▲漢城丸 十五日大阪より入港
▲秀吉丸 同 大阪より入港
▲タルラン 同 小樽より入港
▲諏訪丸 同 大阪へ向出港

▲京龍兩驛の貨客▼ 十三日の分
▲南大門乘降客 乘車客 四六五 下車客 四七六
▲龍山驛乘降客 乘車客 一五一 下車客 一四〇
乘車賃金 二〇六、七五
貨物賃金 八一一、〇五

▲相場電報(十四日)

明治町西村支店着電

▲大阪株式(四月限)
▲京坂同 [illegible]
▲電鐵同 [illegible]
▲大阪同 [illegible]
▲紡績同 [illegible]
▲[illegible]

▲大阪期米 後場▲三月寄十五圓七十錢▲止不明▲四月寄八十[illegible]錢▲止不明▲五月寄九十五錢▲止[illegible]
●十四日前場 三月寄十一圓六十五錢▲[illegible]十五錢▲止五十七錢▲最高[illegible]▲最底五[illegible]▲四月出來不申▲五月[illegible]

제650호 1911. 3. 15.

恐ろしき女の半生

▽娼妓㐧次の懺悔談

二十日許も彼方此方と乗り回して見たが何うも思ふ様に行かないので寧ろ窮らした自暴半分、モ一遍朝鮮へでも行つて見ようと云ふ氣になり博多驛から門司へ出ようと乗り込んだ一等室人ッ子一人居やアしない、歪る時は此様ものかとオク〳〵浮世なるものを悲觀して溜息、吐息五色の息を吹き分け思ひに耽つて居る間に津屋崎、東郷、芦屋も過ぎて停車したのが馴染の折尾の驛、此處へ來ようと云ふ心さへ起さなかつたら今頃此様苦勞もして居まいものを、夫れも詰りは澤山にもない田舎醫者の様を眺つた天罰と諦められない諦めをつけ、見りやア腹が立つからコチナと眼を閉つて居ますと妾の前に腰を掛けて居るれときさの奴が「姫様〳〵」と膝を突くぢやアありませんか、イラ〳〵してる時だつたから構ひませんや「何アに」と眼は閉つた儘で問ひ返へした言葉尻りが馬鹿に邪慳に響いた相です。「何誰様かた乗り合させられました、少々座を讓り遊ばしませ」とれときは中音で呼く、此所邊りで一等室へでも乗らうてな奴は石炭堀りに相違ないから何うで物になるものかとは思つたが知らん顔もして居られず眼を開けて見ると石炭堀りか鑛石堀りにや相違ないが、人品の善い五十七八の立派な紳士二十五六の秘書役らしい高襟男を伴れて居る、此奴何うやらものになり相だ哩と突嗟の間に見當をつけた、此れが虫が知らせると云ふ奴なんでしようね。ソト起ち上つて恭しく會釋して嫣やかに座を少し近らせた、容子から眼元口元に他所行の愛嬌タップリで。「れ二人水入らずでれ在の所へ飛んだれ邪魔を致しますな」と砕けた挨拶を引き取つたれときが稽古を何遍もした同じ文句の筋書通りに「アノ伺う致しまして却つて二人きりで居りました所でございましたので、先刻からモウ淋しうて〳〵て困り切つて居りました所でございましたので、願うてもない仕合せでムいます、チト……嬢様」と濺る、妾しやヨー恥かし相な

案配でコックリ〳〵を演る。話の緒は此所に開けて箱崎宮や香椎の宮の名所の噂から其所へ落して行くとが問はず語りの作り上げてある出鱈目の妻の身の上話し、其の荒筋は斯うなんです。「十六の時縁あつて同じ華族の何伯へ嫁入つたが姑御様が八釜しく殿様は不放蕩、見るに見かねて御實家から離別を取りになつて世の中の男は皆んな彼様ものと思ひ果敢なんで尼になると仰云るのを無理に引止めてやつて在しても、何れ伴をして出ましたが、少々れ年は老がムいますれば少し位の身分の違ひはお厭ひ在らせられませんので、ムニャ〳〵」

何處へ行つしやいますか、下ノ關、恰度好い夫れでは御同行、ハイ何分ともに馴れぬ旅宜しう願ひますは關門間のランチの中、此所迄運べば此方の者、占めたッと二人は顔見合せて事に托けて互にニッコリ。前以て通知して在つたと見へて宿から出迎ひの者に案内されたのが下の關名代の川卯旅館、未だ名は聞かないから此の紳士如何なるものとも判らなかつたが其の待遇方と云ふものが一通りでない。此れから先きを餘りの風俗壊亂、委しくれ話しする譯にも行かないが定まりの幕を撥つて二千圓、れときと分け前、夫れ迄に踏み倒した借り倒した内の厄い方への送金やらを差引いた七百圓を懐に大手を振つて三度び京城へ乗り込んだが四十二年の十月末。其時の紳士ですか、炭礦王の貝島太助と云ふシッリャ人の如い老爺さんよ。(つゞく)

●滑稽 小指の間違

近頃東京で發行せらるゝ諸新聞、通信等の花よめ花むこ欄に寫眞まで掲げて報導せられた内に東京盲啞學校教師啞者三浦浩氏(三六)が小西同校長の媒妁により同校の研究生として通學中なる啞生三浦直子(一七)と婚約成り近日夫婦になると云ふのがあつたが滑稽にも右は婦女通信社の訪問記者の誤認であつた事が小西校長の取消文に依つて判明し、開は夫婦になると云ふ兩人は眞實の兄妹と云ふことである、尤も訪問記者の誤認したに就ても一種の理由ある即ち三うとの事だ、小西校長は此の記事に對して滑稽と迷惑とに痛み入つて訂正手續に及んだのだと、因、啞者は小指を女、即ち婦人と云ふ意味に使用し之れに目上とか目下とか云ふ形容の手眞似を添へるものだとか、治啞小指の間違 仍如件

◎近代的ぶし

近頃東京の大學生間で「近代的ぶし」と云ふのが大に流行つてゐる

女優姿に懐義論羂(デカダン)
自働車飛ばして戀書會
近代的だわね

と云ふので、(デカダン)は囃子で「近代的だわね」と附けるのである節は、「ナンテ間がいゝんでせう」に一寸似てゐる

卒業今かと待ては居ど(デカダン)
君は享樂主義とやら
近代的だわね

之れは大學生間に於ける、學生時代享樂主義なる一派を諷つたものである。學生時代には三十五圓の爲替舞込むも、卒業すれば二十五圓の月給にあらずや、時に臨んで樂まずんば又奈何せん」と、之れが彼等の旗幟でさて、こそ此の主義者の感情は、總々一年停まるものさへある、又別に自用生活主義なる一派があつて、別に彼等は友情を認めず、「友相交るは互に利する處あれば也、餘りある時間を意味あらしめん爲に交際する也」と主張してゐる。此主義者別るゝ時は、「さよなら」などの月並の言葉を交さず「又利用しに來たまへ」と云つてゐる。所謂近代的の思潮が彼等によつて遺憾なく窺はれるではないか。

教授訪問

教授訪のも卒業間際(デカダン)
跡は野となれ山となれ
近代的だわね

一高芦花事件

女許さぬ向陵の庭よ(デカダン)
風になびかす芦の花
近代的だわね

之等も彼等の好んで口にする處である。そして「近代的ぶし」の流行は、獨り大學生間に止まらず、今や新橋、柳橋、赤坂等の交際社界を風靡するの勢で、「ナンテ間が好いんでせう」などは最早口にするものも無い、大阪、神戸等の花柳界も漸く「近代的ぶし」の流行を見んとしてゐる。

●安士暗殺嫌疑者

既報鮮人辯護士安首洙暗殺事件發生以來警務總監部より鈴木司法主任數名の敏腕なる刑事を隨へ水門洞分署に詰切り同分署長林警部と共に極力犯人捜査指揮しつゝあるが目下嫌疑者として安辯護士の妾朴召史外數十名を拘禁嚴重取調中にて尚は各方面に手配を爲し捜査中なれば近く犯人も判明するならん

●毒藥を井戸に投ず

楚山分隊長の報告に依れば近頃賣藥商たる一鮮人が酒國壊仁に入り込み毒藥を井戸に投じたる爲め死者二十名を出したりとの噂あるが或はペスト發生の爲めにはあらざるかと係員出張して調査中なりと平北警務部より電報あり

●米櫃のみを覗ふ

龍山坊巨四契洞戸不詳金生錫(三二)は去る二日午後八時龍山線道傍内炊事係佐々木源吾方に忍び入り米櫃中より白米六升及同十三日午後九時頃再び同家の白米八升を窃取せし事發覺龍山憲兵隊にて逮捕十三日檢事局に送られたり

●恩賜金の授與式

去る八日高陽郡廳庭前に於て郡守以下恩賜公債證書並に郡内の孝子節婦環寡孤獨に對する恩賜金授與式擧行せしに來會者三百餘名にて頗る盛會にて各喜悦滿面に溢れ陛下の御高恩に感激したり

●無鑑の太夫九名

南部會賢坊駱洞伊桃花(十九)李姓女(十九)朴彩蘭(十八)鄭紅梅(二六)趙姓女(十九)林錦江(二〇)金姓女(二三)李江桃(二三)金愛奇(十四)の九名は無鑑札賣淫の廉を以て南部署に檢擧されて目下取調中

●博奕は打ち喧は打る

京畿道坡州郡生れ趙完植(三二)金基鉉(二八)李寅雨(二五)金興俊(二四)の四名金錢を賭し博奕を爲し京城第二分隊に檢擧され各笞刑百に即決

●仁川捕鼠買上

十二日百六十五頭にして金四圓九十五錢なり

●釋尊涅槃會

旭町三丁目日蓮宗護國寺に於ては十五日午前十時及び午後二時釋尊涅槃會嚴修せらるゝ由

●日蓮聖人降誕會

尚は同寺に於て十六日午前十時日蓮聖人降誕慶讃式修行同十一時より法話正午より午後二時まで餘興模擬店開始二時より中込、戸田兩布教師外數名の演説あり參詣隨意

●演藝だより

●壽座 同座に於ける立志團十五日の藝題は二、淨婦金八場に配役は淺岡書記官(稻葉)れ政(淺井)れ新(後井)民吉(花島)榮吉(藤島)田中(青山)久次(北村)松山(五味)郡 ●十六日は化柳全七幕にして配役は北尾曹長(稻葉)正木上等兵(青山)北尾妻れ豐、北尾清三郎(村山)れひげ直次實は石尾源助(花島)北條時子實は横簪れしん(淺井)神田軍曹(北村)伊東伍長(五味)熊谷中尉(阿部)

●浪花館 好人氣なる浪花節吉田奈圓一座十五日の語り物は天龍川仇討吉岡武勇傳(京山愛幸)後藤小金吾(吉川數夫)伊賀の水月荒木美談(喜樂亭八)生柳千吉の傳(日本軒雲龍)令孃の爭、因果の裁判、梅山大佐前席小栗判官(吉田奈圓)なり

●仁川歌舞伎座 永樂舘太郎の續き十五日替狂言俠客

仁川商店めぐり

京町二丁目 高雄支店

本店は大阪にして當支店を開設せしは明治三十七年にして當時高雄與之助氏の經營に係り朝鮮に於ける唯一の醬油業專門にして其販路の多大なるは斯業者間の覇王と云ふも又不可なかるべし然るに與之助氏不幸にして明治四十年不歸の客となりしより同時に氏の甥なる代田繁次氏其衣鉢を承繼し日を重ぬるに從ひて益々盛大となり殊に商品は各産地の生粹を蒐め羅にも特約品には下總の山サ印播州の○や印醬油尾州半田の三〇印清酢等にして孰れも宮内省御用品にて食道樂村井弦齋居士より推賞せられしは治く人の知らるゝ處なれば以て其の眞價を察するに足れり京城の支店と共に日々信用を博し販路は朝鮮内一圓より滿州方面に歡迎せられつゝある又偶然に非ざるなり代田氏又多藝なれども背て料亭に奢らず偶々家中に在て店員を集め長唄淨瑠璃など唸るを快樂の一とし主從常に和氣藹々たるものあり

▲平民文庫▼

▲十四日附の本紙慈善演藝會雜觀中博多二〇加を森安氏の寄附としたのは僕の思ひ違ひで彼れは筑前八幡會の寄附であつたのだ右訂正します(ぼく)▲新町清月樓の鹿の子と牧野の計畫は美事失敗したがマダ〳〵回復の餘地がある樣だ切角奮發したまへ(知能生)▲仁川京町二丁目朝日亭近所では通院しつゝ客を取る酌婦が居る登樓の諸君注意し玉へ(忠告生)▲民團で以何故男女學校を區別せぬのだらう男生と女生徒が巫山戲て居るのを見掛けると一種の杞憂が起ります(希望生)▲神戸人小林生にれ知らせ申す苗字は知らぬが淡路名物のれ久と云ふ二十五六の酌婦は南山町一丁目末廣に居る速かに訪問せよ併し彼れには石川と云ふ亭主がある(プロカ生)▲此の頃當地に諸公債株式現物定期賣買商が五六軒も出來たがエン敷は本能寺か(チー生)▲仁川の米相場をする人は實業家に多く株相場をする人は官吏に多い(同人)▲旅の宿に申す喜多金光堂に對する投書御申入通り取消す(係)▲九日の夜十時前青坡の派出所前を通る見れば二人の巡査の一人は布團を被て一人は正服のまゝ寢て居た云々(天津生)▲仲傷ではないか以上の如きことは充分公平に見て投書したまへよ其の時當番の人は正否に拘はらず此度上官から「嘘を云ふな」と叱られるに決つて居るのだから(小僧)▲岡田と云ふ爲替掛に對する投書は沒とす(係)▲仁川に嘯南と云はるゝ人が居られる相です御存じの方は御住所當欄まで(猫島門前題生)

事務員二名入用

新聞事務に經驗ある者にして市内に確實なる身元保證人を要す希望の方は履歴書携帶本人來談せらるべし

京城新報社

運の勢日

三月十五日舊二月十五日九紫甲申佛滅執十方くれ

△一白 障害多き日なり金錢貸借婚談談合商議協定中裁効なし
△二黑 療病衛生に留意の事他は快欣の日業務及行事進んで支障なし
△三碧 親族知者の事煩累あり誘惑詐謀に罹り易し他は付節事
△四綠 家庭上の事煩累あり他は進んで吉負傷衛生注意の事
△五黃 負傷衛生注意の事くるに好し
△六白 新事見合せの事土木建築農業務及行事進んで吉虚浮潤色を戒しむ
△七赤 吉移轉旅行婚談中裁協商凶
△八白 會心の日大凡吉建築整理轉住吉他は控へ目の事盜害横領防ぐべし
△九紫 諸事謙愼の事容疑に遭ふの恐れあり旅行婚談轉住轉業尤も凶
(本町五丁目三一館判斷)